

計量アプローチによる性犯罪要因分析 A Study about Factors Analysis on Sex Offences by Quantitative Analysis Approach

大槻 明[†]
Akira Otsuki

1. はじめに

2.1 節及び 3.1.1 節で述べるように、今回手動で収集した性犯罪関係ニュースの総件数 126 件のうちの約 40% (60 件) が強制性交等であった。図 1 にこの強制性交等の月別発生件数を示すが、今回収集した期間 (2021/10-2022/3) に絞ると、月平均で約 4.3 件の強制性交等事件が発生している。強制性交等罪は「魂の殺人」とも言われる決して起きてはならない犯罪[1]にも関わらず、ニュース記事から手動で収集したものだけでも月平均 4.3 件も発生しているということに加え、婦人公論.jp[2]では性犯罪被害者の 7 割が泣き寝入りをしていると述べられていることから、実際にはかなり多くの性犯罪が発生していると考えられるため、現状の日本は、女性にとって安心して暮らせる状態とはとても言えず異常な状態であると考えられる。

ゆえに、本研究では、特に強制性交等を取り上げて日本における性犯罪の現状を周知するとともに、その要因や対策について計量アプローチから考察を行う。

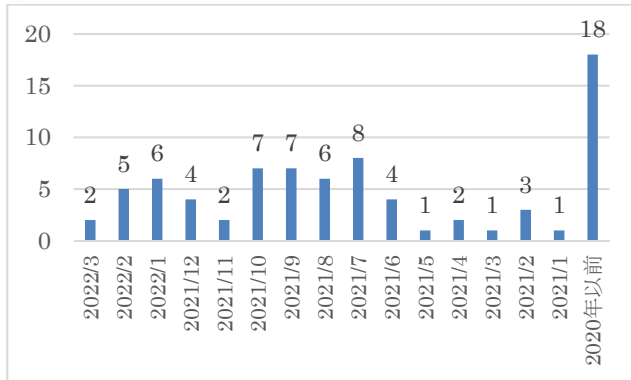


図 1 強制性交等の月別発生件数

2. 提案アプローチ

2.1 分析対象データの収集

2021/10-2022/3 の期間で Yahoo!ニュースで報道された、わいせつや強制性交等のニュースを手動でコピーすることによりデータを収集した。取得されたデータは計 126 件である。取得されたデータを分析用に成形した項目について表 1 にまとめる。なお、今回の分析は被害者や犯罪者の個人が特約できる情報は一切削除して行った。

表 1 データ概要

データ項目	概要
date	犯罪日時
time	
crime	犯罪の種類
situation	犯罪の状況 (3.1.3 節)
location	犯罪が起きた場所

¹ <https://spacy.io/>

victim(age)	被害者の年齢
text	報道内容テキスト文 (個人が特定できる情報は削除済)
suspect (position)	容疑者の所属
suspect(age)	容疑者の年齢

2.2 分析アプローチ

単純集計及びテキストマイニングのアプローチから分析を行う。テキストマイニングには GINZA[3]の係り受け解析を用いた。GINZA は Deep Learning ベースのテキストマイニングライブラリ spaCy¹に日本語深層学習モデル等を追加したものである。また、日本語形態素解析器には SudachiPy²を採用している。

3. 分析結果

3.1 単純集計の結果

3.1.1 犯罪の内訳

犯罪の内訳を図 2 に示す。一番多かったのは強制性交等 (60 件, 全体の約 40%) であり、2 番目に多かったのはわいせつ (37 件, 全体の約 30%) であった。

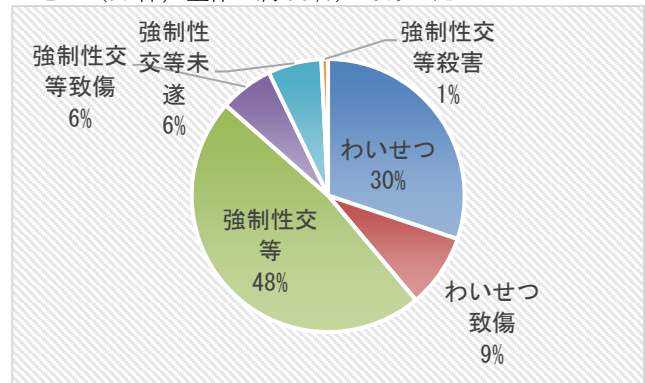


図 2 犯罪の内訳

3.1.2 被害者の年代

表 2 は被害者の年代分布である。例えば、年齢ではなく女子大生や女性といった報道のされ方をしていた場合は、それぞれ「女子大生」や「女性」の年代として集計した。表 1 から、被害にあった人数が最も多かったのは 20 代女性 (49 名, 全体の約 39%) であり、その次に多かったのは 10 代女性 (28 名, 全体の約 22%) であった。さらに女子大生や女子高生なども含めると、性被害にあっている約 86% (108 名/126 件) が 10 代~20 代の女性であることが明らかとなった。

表 2 データ概要

年代	人数
50 代女性	2

² <https://github.com/WorksApplications/SudachiPy>

40代女性	1
30代女性	8
20代女性	49
女子大生	7
女子専門学校生	5
10代女性	28
女子高校生	7
女子中学生	6
13歳未満女性	3
女子小学生	3
女性	7

3.1.3 犯罪の状況 (situation)

図 3 は犯罪の状況ごとに集計したデータのうち、件数が 5 件を超えるものに絞ってグラフに可視化したものである。さらに、図 4 は犯罪を強制性交等に限定して、さらに発生件数が 5 件以上ものに絞ったものである。図 3, 4 から次節以降では発生件数の多い「帰宅途中」と「SNS」を取り上げて分析及び考察を行う。

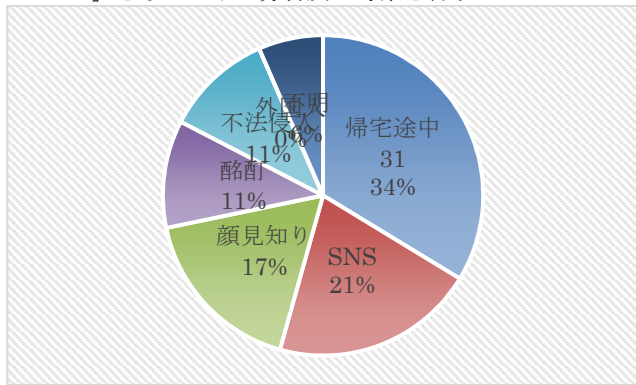


図 3 犯罪の内訳

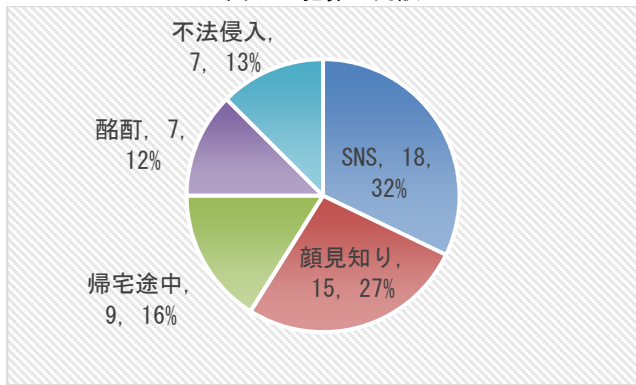


図 4 犯罪の状況

3.1.4 分析結果 (帰宅途中)

表 3 は、帰宅途中に被害にあった被害者の時間帯分布ごとの被害人数 (件数) であり、報道に時間が表記されているものだけを集計したものである。さらに、これら被害人数を気象庁が定める時間帯¹ごとに該当件数を集計した。この結果、もっとも被害人数が多い時間帯は「夜遅く (21 時頃から 24 時頃まで (11 人))」であり、2 番目は「未明 (午前 0 時から午前 3 時頃まで (9 人))」であった。つまり、帰宅時間が遅くなるほど被害にあう確率が高いことが

明らかとなった。これらの時間帯に女性が一人で外を出歩くことは危険であると考えられる。

表 3 帰宅途中の時間帯分布

時間帯	被害人数	気象庁の時間帯と該当件数	
7:00	1	1	朝：午前 6 時頃から午前 9 時頃まで
10:00	1	1	昼前：午前 9 時頃から 12 時頃まで
17:00	2	2	夕方：15 時頃から 18 時頃まで
18:00	1	5	夜：18 時頃から 24 時まで
20:00	4		
21:00	3		
21:30	2		
22:00	2		
22:30	1	11	夜遅く：21 時頃から 24 時頃まで
23:00	1		
23:30	2		
0:00	1	9	未明：午前 0 時から午前 3 時頃まで
0:30	2		
0:30	2		
1:00	2		
3:00	2		

3.1.5 帰宅途中の発生場所

帰宅途中の総件数は 31 件であり、この被害の内訳は次の通りであった。本節では、下記のうち、強制性交等及び強制性交等致傷の計 8 件について係り受け解析を行った。

- ・ わいせつ：15 件
- ・ わいせつ致傷：8 件
- ・ 強制性交等：6 件
- ・ 強制性交等致傷：2 件

具体的に、「性的暴行 (一例)」といった名詞を発端に単語を遡っていくことで、事件の発生場所や状況の解釈を試みた。なお、「名詞←compound (複合名詞)←名詞」といった複合名詞は予めつなげたうえで処理した。まず、8 件の係り受けを行った結果、次の 3 パターンの特徴が見られた。

【パターン 1】

- ・ 基本は obl (目的語) の係り先の単語を遡る。Obl ヒットしなかった場合に nmod (名詞修飾語), acl (名詞の節修飾語) 及び advcl (副詞節修飾子) でヒットした単語を。本研究では nmod, acl, advcl が同時に複数ヒットすることが無かったので、これらのうちヒットしたものを遡る仕様とした。
- ・ **【例】** 路上←obl (目的語) ←ない←acl (名詞の節修飾語)←18)←obl (目的語) ←突きつけ←advcl (副詞節修飾子) ←ませ←obl (目的語) ← **【性的暴行】**

【パターン 2】

- ・ 遡り方はパターン 1 と同じだが、ある単語を境に分岐しているパターン
- ・ **【例】**

¹ https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/yougo_hp/toki.html

<p>【性的暴行】←obl(目的語)←及んだ 路上←obl(目的語)←つかんで←advcl(副詞節修飾子)</p>
<p>【パターン 3】 例えば下記の【例】のように「事の発端」, 「目的(性的暴行)」と「発生状況」がそれぞれ別のルートになっていてさらにつながっていないため遡れない。 【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟市中央区←obl(目的語)←歩い←acl(名詞の節修飾語)←女子中学生 ・話しかけ←advcl(副詞節修飾子)←離れ←acl(名詞の節修飾語)←トイレ←obl(目的語)←誘い込ん←aux(助動詞)←だ ・帰れ←advcl(副詞節修飾子)←脅し←advcl(副詞節修飾子)←わいせつ←acl(名詞の節修飾語)←誘拐←nmod(名詞修飾語)←【強制性交】

本研究では上記パターン 1 については自動処理を行いその他のパターンについては手動で補完する半自動の形で発生場所や状況の解釈を行った。この結果を表 4 にまとめる。

No1 は、例えば、「面識←nsubj(主語名詞)←ない」といったような係り受け解析の補完をしないと詳細が分かりにくい部分もあるが、概ね「路上を歩いていた 18 歳の女子に何かを突き付けて車か何かに載せて性的暴行をした」という状況などがうかがえる。少なくとも路上という状況が抽出できていたためパターン 1 とした。

No2 も同様に「声←obl(目的語)←掛け」という補完が必要なものの、駐車場で声をかけて掴んで暴行に及んだという状況が抽出できていたためパターン 1 とした。No3 も同様である。

No4 は、「及ん←だ」から分岐される 2 つの係り受け先を遡ることで、民家の駐車場で性的暴行に及んだ状況が抽出できた。なお、元テキストを確認すると、「東京都世田谷区の路上で帰宅途中だった中学 1 年生の少女に後ろから近づき肩をつかんで脅して近くの民家の駐車場に連れ込んでの性的暴行した」とのことであり、つまり、分岐を境に 2 つのルートをたどっても、「帰宅途中の中学生をつかんで脅して民家の駐車場に連れ込んだ」という状況までは抽出できていなかった。

No5 も、「加え」から分岐される 2 つの係り受け先を遡ることで、歩道を歩いていた女性に性的暴行を加えた状況が抽出できた。なお、元テキストを確認すると、「新潟市中央区の歩道を歩いていた 20 代の女性に対し背後から手で口を塞ぐなどして引き倒し性的暴行を加えた」とのことであり、つまり、分岐を境に 2 つのルートをたどっても、「歩道を歩いていた 20 代の女性に対し背後から手で口を塞ぐなどして引き倒し性的暴行を加えた」という状況までは抽出できていなかった。

No6 は、強制性交と発生場所と状況の 3 つが別々のルートになっていたため、それらを手動で抽出した。これらを繋げると、新潟市中央区を歩いていた女子中学生が、話しかけられてトイレに誘い込まれて、脅されて強制性交の被害にあった状況が明らかとなった。

No7 も同様に手動で解釈したところ、新潟市東区の路上で刃物を突きつけられて抵抗できないようにされ、性的暴行を加えられた状況が明らかとなった。

No8 は 2 つのルートに分岐されていたが、これらのルートがつながっていなかったためパターン 3 に分類し手動で解釈したところ、路上で帰宅中の 17 歳をつかんで絞めたり投げ倒したりしたうえで性的暴行を加えた状況が明らかとなった。

表 4 係り受け解析の結果 (強制性交等)

No	発生場所 (パターン)	状況
1	路上(1)	路上←obl(目的語)←ない←acl(名詞の節修飾語)←18←obl(目的語)←突きつけ←advcl(副詞節修飾子)←乗せ←obl(目的語)←【性的暴行】
2	駐車場(1)	駐車場←obl(目的語)←掛け←advcl(副詞節修飾子)←つかん←advcl(副詞節修飾子)←【暴行】
3	自転車(1)	自転車←obl(目的語)←乗っ←advcl(副詞節修飾子)←近づき←acl(名詞の節修飾語)←道←obl(目的語)←尋ね←advcl(副詞節修飾子)←案内←advcl(副詞節修飾子)←【性的暴行】
4	民家の駐車場(2)	・民家←nmod(名詞修飾語)←駐車場←及ん←aux(助動詞)←だ ・【性的暴行】←obl(目的語)←及ん←aux(助動詞)←だ
5	歩道(2)	・【性的暴行】←obl(目的語)←加え←acl(名詞の節修飾語)←た ・歩道←obl(目的語)←歩い←acl(名詞の節修飾語)←女性←obl(目的語)←加え←acl(名詞の節修飾語)←た
6	路上(3)	・新潟市中央区←obl(目的語)←歩い←acl(名詞の節修飾語)←女子中学生 ・話しかけ←advcl(副詞節修飾子)←離れ←acl(名詞の節修飾語)←トイレ←obl(目的語)←誘い込ん←aux(助動詞)←だ ・帰れ←advcl(副詞節修飾子)←脅し←advcl(副詞節修飾子)←わいせつ←acl(名詞の節修飾語)←誘拐←nmod(名詞修飾語)←【強制性交】
7	路上(3)	・新潟市東区←nmod(名詞修飾語)←路上 ・刃物←obl(目的語)←突きつける←advcl(副詞節修飾語)←し←advcl(副詞節修飾語)←抵抗←advcl(副詞節修飾語)←負わ←aux(助動詞)←た ・【性的暴行】←obl(目的語)←加える
8	路上(3)	・路上←obl(目的語)←帰宅←acl(名詞の節修飾語)←17 歳←obl(目的語)←つかん←advcl(副詞節修飾語)←絞め←advcl(副詞節修飾語)←投げ倒し←advcl(副詞節修飾語)←加え

	・ 【性的暴行】 ←obl (目的語) ←加え
--	-------------------------

3.1.6 分析結果 (SNS)

3.1.5 節と同様の係り受け解析を用いて分析を行った結果を表 5 に示す。なお、本節では SNS や SNS 関連語 (Twitter やインターネットなど) を事の発端として係り受け解析を行った。表 5 のパターン列は表 4 と同様である。

まず、No.1~6 はパターン 1 に該当するものであり、それぞれ下記に示すように発端や状況が明らかとなった。

- ・ **No. 1** : SNS の投稿写真を入手して脅した
- ・ **No. 2** : SNS の投稿画像をもとに誘い出した
- ・ **No. 3** : スマホアプリの投稿を見た男が返信。
- ・ **No. 4** : SNS で知り合っ 2 3 歳に、やくざに関係する何らかの事をして何かを加えた
- ・ **No. 5** : メッセージを送信し公園に誘い出し連れ去った
- ・ **No. 6** : アプリで知り合った女性に何かをばらまくと脅した

No3 は、「投稿」から分岐する別のルート「スマホのアプリで「誰か援助お願いします」を抽出すればさらに詳細な状況が明となるが、スマホアプリが発端であることと、女性がスマホアプリに投稿した内容を見た男が返信したことで事件に発展した状況が把握できたためパターン 1 とした。

No.4 で不明な内容は、やくざに関係する何をしたのか? という事と、どのようなことを加えたのか? という 2 点であるが、実際のテキストを確認すると、「SNS で知り合った 2 3 女性に自分がやくざだと脅して性的暴行を加えた」といった内容であったが、この状況がある程度は抽出できていたと判断し、パターン 1 と解釈した。

次に、NO.7~14 は、パターン 2 に該当するものであり、それぞれ下記に示すように発端や状況が明らかとなった。

- ・ **No. 7** : 「初対面」からの分岐をたどることで、ツイッターが発端であり、駐車場で押さえ付けられて事件に至った状況が明らかとなった。
- ・ **No. 8** : 「知り合っ」からの分岐をたどることで、SNS が発端であり、面接に来た女性を睡眠導入剤を飲まされて事件に至った状況が明らかとなった。
- ・ **No. 9** : 「し」からの分岐をたどることで、インターネットサイトが発端であり、面接に来た女性に性的暴行を加えようとした状況が明らかとなった。
- ・ **No. 10** : 「発覚」からの分岐をたどることで、ツイッターが発端であり、自宅で性的暴行を加えたという状況が明らかとなった。

- ・ **No. 11** : 「し」からの分岐をたどることで、SNS が発端であり、建物内でわいせつな行為に及んだ状況が明らかとなった。
- ・ **No. 12** : 「逮捕」からの分岐をたどることで、SNS が発端であり、何らかの手口で誘い出し、性交、致傷を行った状況が明らかとなった。
- ・ **No. 13** : 「知り合っ」からの分岐をたどることで、マッチングアプリが発端であり、睡眠導入剤を接種させて抵抗できない状態にして犯行に及んだ状況が明らかとなった。
- ・ **No. 14** : 「さ」からの分岐をたどることで、マッチングアプリが発端であり、睡眠薬を混ぜて意識をもうろうな状態にして犯行に及んだ状況が明らかとなった。

以上のパターン 2 は、どの分岐をたどっていくかを今回は手動で判断したため、今後の課題としてこの判断基準の自動化について研究していきたい。

最後に、残りは全てパターン 3 に該当するものであり、手動で確認を行ったところ、次のような傾向にグループ分けされた。

No. 15, 16 はテキストの一番最後に「2 人は SNS を通じ知り合った」といった一文のみが書かれていただけなので、犯罪の発端に関する状況は抽出できていたが、犯罪の状況は抽出できなかった。

No.17 は、マッチングアプリからたどれるのは「マッチングアプリ←知り合い←性交」のみであり、実際にテキストを確認したところ、「睡眠導入剤入り飲料を飲ませて性的暴行をした」という状況であったが、この流れとはつながっていない、つまり、発端と状況がつながっていないため発端と状況を同時に抽出することはできなかった。No.18 も同様であった。

以上、本節におけるパターン 3 の原因として考えられることの一つは、今回は係り受け単語を遡る方向性が一方だけ (←「この発端の単語」) だったためであると考えられる。この対策として、前後 2 方向に遡るようにして、両者をうまくつなげる方法について研究する方向性が考えられるが、今回は犯罪要因とその対策を明らかにすることに主眼を置いているため、このことについては今後の課題として研究したいと考える。

表 5 係り受け解析の結果 (SNS)

No	事の発端 (パターン)	状況
1	SNS (1)	SNS←obl (目的語) ←投稿←acl(名詞の節修飾語)←写真←obl (目的語) ←入手←advcl (副詞節修飾子) ←脅し
2	SNS (1)	SNS←obl (目的語) ←投稿←acl(名詞の節修飾語)←画像←obl (目的語) ←もと←obl (目的語) ←誘い出し
3	ツイッター(1)	スマホ←nmod (名詞修飾語) ←アプリ←obl (目的語) ←し←advcl (副詞節修飾子) ←投稿←advcl (副詞節修飾子) ←見←acl(名詞の節修飾語)←男←nsubj (主語名詞) ←返信。
4	SNS (1)	SNS←obl (目的語) ←知り合っ←acl(名詞の節修飾語)←2 3 ←obl (目的語) ←やくざ←advcl (副詞節修飾子) ←加えた
5	メッセージ(1)	メッセージ←obl (目的語) ←送信←nmod (名詞修飾語) ←公園←obl (目的語) ←誘い出し←advcl (副詞節修飾子) ←連れ去っ
6	アプリ(1)	アプリ←obl (目的語) ←知り合っ←acl(名詞の節修飾語)←後半←acl(名詞の節修飾語)←女性←obl (目的語) ←ばらまく

7	ツイッター(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ツイッター←obl (目的語) ←知り合い←advmod (副詞修飾語) ←初対面 ・ 駐車場←obl (目的語) ←押さえ付ける←advcl (副詞節修飾子) ←し←advcl (副詞節修飾子) ←加え←acl(名詞の節修飾語)←2人←nsubj (主語名詞) ←初対面
8	SNS (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS上で←obl (目的語) ←知り合っ ・ 睡眠導入剤←obl (目的語) ←飲ま←acl(名詞の節修飾語)←後←し←acl(名詞の節修飾語)←女性←obl (目的語) ←知り合っ
9	インターネット (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネット←nmod (名詞修飾語) ←サイト←obl (目的語) ←出し←advcl (副詞節修飾子) ←来←acl(名詞の節修飾語)←女性←obl (目的語) ←面接←advcl (副詞節修飾子) ←し ・ 性的暴行←obl (目的語) ←加えよう←advcl (副詞節修飾子) ←し
10	ツイッター (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ツイッター←obl (目的語) ←し←advcl (副詞節修飾子) ←あり←acl(名詞の節修飾語)←発覚 ・ 自宅←obl (目的語) ←加え←あり←acl(名詞の節修飾語)←2人←dislocated (転置) ←発覚
11	ツイッター (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS←obl (目的語) ←知り合っ←acl(名詞の節修飾語)←女性←obl (目的語) ←し ・ 建物内←obl (目的語) ←わいせつ←acl(名詞の節修飾語)←行為←obl (目的語) ←し
12	ツイッター (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS←obl (目的語) ←送っ←acl(名詞の節修飾語)←逮捕 ・ 誘い出し性交←nmod (名詞修飾語) ←致傷←nmod (名詞修飾語) ←疑い←nmod (名詞修飾語) ←逮捕
13	マッチングアプリ(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ マッチングアプリ←obl (目的語) ←知り合っ ・ 睡眠導入剤←obl (目的語) ←接種←advcl (副詞節修飾子) ←抵抗←acl(名詞の節修飾語)←状態←obl (目的語) ←し←advcl (副詞節修飾子) ←し←acl(名詞の節修飾語)←後←obl (目的語) ←知り合っ
14	マッチングアプリ(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ マッチングアプリ←obl (目的語) ←出会っ←acl(名詞の節修飾語)←代 ←obl (目的語) ←さ ・ 睡眠薬←obl (目的語) ←混ぜ←advcl (副詞節修飾子) ←もうろう ←advcl (副詞節修飾子) ←さ
15	SNS (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS←obl (目的語) ←通じ→advmod←知り合っ
16	マッチング (3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ マッチング←アプリ←知り合っ
17	マッチングアプリ(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ マッチングアプリ←obl (目的語) ←知り合い←advmod (副詞修飾語) ←性交
18	インターネット(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネット←nmod (名詞修飾語) ←サイト←obl (目的語) ←会っ←aux(助動詞)←た

4. Web アプリの構築

表 1 の location 情報から緯度経度情報を調査して日本地図上にプロットしたものが図 5 である。図 5 には、被害者の年齢 (victim(age)) 及び容疑者の所属 (suspect (position), 年齢 (suspect(age)) など、被害者や容疑者の個人が特定できる情報を除き、表 1 のその他の情報もマーカーに表示させることが可能である。ただし、本アプリは一般公開するものではなく、5.3 節の参考として例示している。

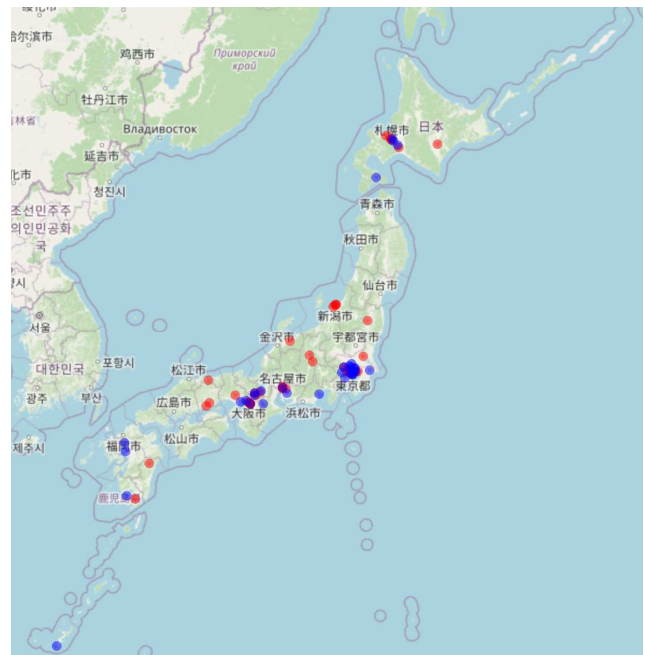


図 5 性犯罪 DB の可視化
(赤マルは強制性交等, 青マルはわいせつをそれぞれ表す)

5. 考察

前章までの分析結果を踏まえて、個人における対策 (5.1 節)、法改正 (5.2 節) 及び性犯罪者 DB 若しくは性犯罪者 DB の公開 (5.3 節) の観点から考察を行う。

5.1 個人における対策

図 3 から帰宅途中の犯行が最も多く、その時間帯は表 3 に示す通り、「夜遅く」と「未明」が特に多いため、夜遅くに女性一人で出歩かない、帰宅しないことが極めて重要であると考えられる。

また、図 3 で 2 番目に多い SNS について、まず、表 5 の No1, 2 は女性が SNS 等に投稿した写真を元に脅されて犯罪に至っているため、むやみに SNS に写真を投稿しないなど、SNS の危険性をケーススタディ形式で教育することが重要であると考えられる。

さらに、No3, No4, No6~No8, No12~No18 は、SNS で出会いを求めて実際に男性に会い、睡眠薬を飲まされるなどされて性的暴行に至ったケースが殆どであり、また No9 は、架空のバイト募集を信じて容疑者の自宅マンションに面接に行き性的暴行されたケースであった。ゆえに、対策としては、未成年には安易に SNS を使わせないようにするとか、前段落と同様に SNS の危険性をケーススタディ形式で教育することが必要であると考えられる。

5.2 法改正

文科省資料[5]を元に強制性交等罪の罰則に関する国際比較を下記に示す。

- ・ **日本**：被害者が 13 歳未満の場合、5 年以上の有期懲役刑
- ・ **アメリカ (ミシガン州)**：被害者が 13 歳未満の場合、無期又は有期拘禁刑
- ・ **アメリカ (ニューヨーク州)**：行為者が 18 歳以上、被害者が 13 歳未満の場合、5 年以上 25 年以下の拘禁刑
- ・ **イギリス (イングランド及びウェールズ)**：被害者が 13 歳未満の場合、最高で終身刑
- ・ **韓国**：被害者が 13 歳未満の場合、3 年以上の有期懲役刑

上記は「被害者が 13 歳未満の場合」のケースに限定して比較しているが、韓国を除き、どの国も罰則が非常に重い。第 1 章で述べたように、強制性交等罪は魂の殺人とも呼ばれるほど重罪であることを考えると、日本の女性に対する人権が現状は軽視されていると言わざるを得ない。さらに、表 5 の No4 の容疑者は 8 度目の逮捕である。つまり、現行法では起きてはならない性犯罪が繰り返されてしまうという現状に鑑みても、早期に罰則強化を行うことが必要であると考えられる。

5.3 性犯罪者 DB 若しくは性犯罪者 DB の公開

アメリカでは、メーガン法に基づき、性犯罪抑止を主な目的として表 1 及び図 5 のような性犯罪者の登録情報を一般公開している[6]。日本でも、同様の目的から国や自治体の主導の元で表 1 及び図 5 のような性犯罪者 DB、若しくは性犯罪者 DB を整備したうえで公開するべきだと考える。

6. おわりに

本研究では、Yahoo!ニュースで報道されたわいせつや強制性交等のニュースを手動で取得し、これらのデータを計量アプローチから分析及び考察を行うことで、今後、二度と魂の殺人を発生させないために、「個人的な対策」、「法改正」及び「性犯罪者 DB 若しくは性犯罪者 DB の公開」という 3 つの観点から考察を行った。

今後は、分析対象データをさらに増やして分析を行い、分析の結果得られた知見を元に、具体的な対策について提言していきたい。

参考文献

- [1] 映画「月光」試写会レポート&監督インタビュー：「魂の殺人」と呼ばれる性暴力被害を描く映画「月光」から見えること、<https://wotopi.jp/archives/36754> (2022/4/10 閲覧済み)。
- [2] 婦人公論.jp：「性犯罪被害者の 7 割が泣き寝入り。「あなたは悪くない」と声がけを」、<https://fujinkoron.jp/articles/-/156> (2022/4/10 閲覧済み)。
- [3] 榎剛史, 石野亜耶, 小早川健, 坂地泰紀, 嶋田和孝, 吉田光男: 実践 Data Science シリーズ Python ではじめるテキストアナリティクス入門 (KS 情報科学専門書), 講談社, 2022。
- [4] 日本経済新聞：「入管法改正案を閣議決定 単純労働で外国人受け入れへ」、2018 年 11 月 2 日、<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO37249690R01C18A1MM0000/#:~:text=%E6%94%BF%E5%BA%9C%E3%81%AF2%E6%97%A5%E3%80%81%E5%8D%98%E7%B4%94,%E3%81%AB%E3%82%AB%E3%82%B8%E3%82%92%E5%88%87%E3%81%A3%E3%81%9F%E3%80%82> (2022/5/3 閲覧済み)。
- [5] 諸外国の性犯罪に関する罰則 (概要)：<https://www.moj.go.jp/content/001318167.pdf> (2022/5/4 閲覧済み)。
- [6] 松井茂記：「性犯罪者から子どもを守る：メーガン法の可能性」、中公新書, 2007。